ŌMIYA NEWS

No.140　2024年3月4日　JR東労組大宮地本

大地申第15号
2月22日

「2024年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れ（その２）【首都圏本部】団体交渉を開催！①

【共通】

1. 管理する車両の運用本数及び予備本数を明らかにすること。また仕業検査等委託先である事業所の体制を明らかにすること。

【小山車両センター】

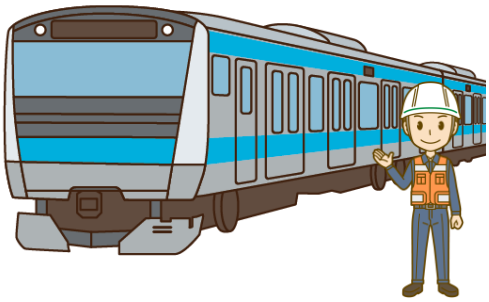
E231E233 基本編成	６５編成中５９、検修予備２、保留４
E231E233 付属編成	５２編成中５０、検修予備２
E131 系	１５編成中１４、検修予備１
EV-E301 系(ACCUM)	４編成中　３、検修予備１

・仕業検査の基本本数_131 系＝2 本(△1)、基本編成＝11 本(△1)、付属編成＝10 本(△1)

【東大宮センター】

253 系	２編成中　１	
E257 系基本(９両)	１３編成中１２、検修予備１	＊13 編成から 12 編成へ
E257 系東海道(５両)	４編成中　３、検修予備１	
E257 系高崎(5 両)	３編成中　３	
E257 系臨時(9 両)	４	＊３編成から４編成へ
１８５系波動	２	
E261 系	２編成中　１、検修予備１	

・検査本数に変更なし



【川越車両センター】

E233 系(10 両)	38 編成中 36、検修予備２
E231 系,209 系(4 両)	11 編成中 10、検修予備１

・仕業検査の基本本数_E233 系＝5 本(△1)

【さいたま車両センター】

E233 系(10 両)	82 編成中 79、検修予備２、保留１(※79 段のうち３は保留)

・仕業検査の基本本数_14 本(△4)…内訳：南浦和８本(△4)、大田６本

＜確認事項＞

仕業検査本数の変更により、小山・川越・浦和事業所の体制見直しはあるが、輸送混乱等異常時含めこれまで発注していた業務が受けられなくなることはない

＜主な議論＞

・仕業検査の使用期間見直しにより、9 日を超えない範囲で実施することとなり、効率的な運用を検討し設定することで、削減につながった。

・現行でも対応できない場合がある状況については、極力異常時でも実施していただくため運輸サービスとも話をしていく。

・夜間体制が見直しされても、異常時の仕業検査はこれまで通り運輸サービスで実施する。

②へつづく

ŌMIYA NEWS
No.141　2024年3月4日　JR東労組大宮地本

大地申第15号
2月22日

「2024年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れ（その２）【首都圏本部】団体交渉を開催！②

【小山車両センター】

1. 出区時間に追われ、作業者の精神的な不安を無くすために EV―E301系（301）の保全検査後の後運用を無くすこと。

＜確認事項＞
○昨年要求の東北本線（付属編成）の後運用は解消！
○EV-E301系（ACCUM）は４編成中３つを定期で使用しているが、入場などあるとどうしても使用しなければならない。
○今改正では出区の場面で、雀宮駅での退避を無くして１２分程度だが改善を行った。
○今後、後運用を無くす保証は出来ないが、現場の声をキャッチして作業環境含めて安全確保をしていく。

2. 保留車についての尾久疎開を無くし、4～7番線の2区を10両収容出来るようにすること。

＜確認事項＞
○留置線を伸ばすのは、ハードルは高い。UT・SSで高崎から小山に集約したタイミングでも検討した。
○今後大きな変化、留置箇所の変更や車両運用が変わっていく時が一つのタイミングである。

3. 転削機老朽化による設備置き換えの考え方を明らかにすること。また、安全安定輸送のため早急に改善すること。

＜確認事項＞
○来年度オーバーホールを計画。メニューを洗い出ししているところであり、決まり次第進めていく。
○走行距離がこれ以上延びないよう、他箇所での対応含めて検討している。

【東大宮センター】

1. E257系転配以降故障が発生している頻度の高いものや運用に直結する部品の予備を確保すること。

＜確認事項＞
○故障の状況は品質管理科で把握しており、必要な部品は確保していく。
○メーカーへの修理から状況により修繕に時間がかかることもある。
○在庫が過剰になってもいけない。適切な在庫管理も必要である。
○部品の購入だけではなく、自箇所で機器を修繕する箇所もある。
○修繕費だけでなく、専決予算等エントリーして要求する方法もある。

2. 高崎線特急運用については定期運用を変更せず、増発分は波動編成のみで完結する車両運用を設定すること。また、NC 編成の運用増に伴い安定的な輸送を確保するためコンセント改造を行うこと。

＜確認事項＞
○高崎線特急運用は、臨時があると定期では回せないため波動車を使わざるを得ない
○線区でビジネスのお客さまが多い車両にコンセントを付けている。
○改造工事や予算要求をするなど声を上げてほしい。

3. E257系の熱海駅における分割併合時間の考え方について明らかにすること。また、安全安定輸送確保にむけ自動ホロの改修工事を行うこと。

＜確認事項＞
○自動ホロの不具合で、手動にして８分遅延という事があった。
○通常の分割併合の時分を計り設定しているが、自動ホロの不具合について状況は把握している。
○最終的には指令の判断だが、JETSでも速やかに処置を行えるように学んでいる
○対応について動画の提供をお願いすることもあるが、訓練など計画していると聞いている。

③へつづく

ŌMIYA NEWS

No.142　2024年3月4日　JR東労組大宮地本

大地申第15号
2月22日

「2024 年 3 月ダイヤ改正について」に関する申し入れ（その２）【首都圏本部】団体交渉を開催！③

【東大宮センター】

4. モニタリング保全開始に向けた考えを明らかにすること。また、導入の際には適切な判断・承認が行える社員の配置を行うこと。

＜確認事項＞

○人事交流で２名が学びに行っているが、モニタリング保全について検討はしているところである。
○INTEROS の不具合改修を終えないと進められない。
○アラームの件数が多いことは把握しており、すでに導入している箇所でも発生している。
○知見のある箇所と情報交換しながら、区所の特上を踏まえオリジナルをつくっていただきたい。
○検修業務経験者という思いはわかるが、情報共有しながら必要な教育は行っていく。

5. 東大宮センターから小山車両センターへ、保全科から東大宮センターの機能保全見習いを行っている目的と今後の展望を明らかにすること。

＜確認事項＞

○キャリアパスの考えもあるが、東大宮センターから行っていただいているかたは在来線を学ぶ。保全科の方は、生きた車両を学ぶ
○小山車両センターは持ち車が多く、将来的にひっ迫した時に柔軟な対応ができなくなる。
○周期延伸により OM は業務量が減少しており、閑散期に幅を広げておく。
○取り組みにあたり、自箇所の業務に支障が出ないようにしていく。

【川越車両センター】

1. 仕業ダイヤが朝のみとなるが、ダイヤ乱れ等が発生した場合に仕業検査切れを防止するため夜入区での仕業検査を実施できる体制とし、入区車の臨時検査が発生した場合、安全の確保とヒューマンエラー防止のため2名体制で行うよう指導すること。

＜確認事項＞

○異常時でも仕業検査は実施できる体制であり、２名で実施すると聞いている。
○南古谷始発 512K についてはご利用状況を把握したうえで検討する必要はある。輸送にも伝えていく。
○埼京運輸区の乗務員訓練は池袋留置車両での対応。

2. 検修庫内が鳩の糞害で苦慮していることから抜本的な対策と環境改善を早急におこなうこと。

＜確認事項＞

○鳩やカラスは様々な職場で同じ状態である。ＴＫでもピット線などに巣をつくられている。
○塗料に匂いを付けたり、ネットをしても破けてしまうなどの一過性の現実がある。幕張車両センターにおいてＣＳＰが鳥の対応をしているとも聞いている。効果をまず確認していかなくてはならない。
○鳩糞についても現状で我慢して欲しいということではない。有効策を考えていきたい。

糞が乾燥し舞うことで感染症のリスクが増えることから、部分的でも早急に対応することを求める！

【さいたま車両センター】

1. 今ダイヤ改正において仕業検査指定本数が大幅に減少することから、仕業検査切れが発生しないよう、南浦和での仕業検査を確保すること。

＜確認事項＞

○実績ベースで、３６５日の業務量を見て判断している。
○８日目などで仕業検査切れを起こさないよう、南浦和にきた段階で車交などの手配や、実施できる箇所へ回送を手配することとなる。
○大田での状況は臨時の仕業もできる前提である。意見があれば運輸サービスとも話をしていく。

施策実施後の検証を行い「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくろう！